

コロンビア

Republic of Colombia

	2013年	2014年	2015年
①人口：4,820万人（2015年）			
②面積：114万1,748km ²			
③1人当たりGDP：6,084米ドル （2015年）			
④実質GDP成長率（%）	4.9	4.4	3.1
⑤消費者物価上昇率（%）	1.94	3.66	6.77
⑥失業率（%）	9.6	9.1	8.9
⑦貿易収支（100万米ドル）	2,203	△6,292	△15,907
⑧経常収支（100万米ドル）	△12,326	△19,593	△18,925
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	43,639	47,328	46,740
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	91,976	101,282	111,197
⑪為替レート（1米ドルにつき、 コロンビア・ペソ、期中平均）	1,868.90	2,000.68	2,746.47

〔注〕①③、④の2014年、⑩の2013、14年は暫定値。④の2015年、⑧の2014、15年、⑩の2015年は推計値。⑦：国際収支ベース（財のみ）
〔出所〕①④～⑦：国家統計庁（DANE）、②：アグスティ・コダシ国土地理院（IGAC）、③：IMF、⑧～⑩：コロンビア中央銀行

2015年のコロンビアの実質GDP成長率は3.1%に減速した。最大の輸出産品である原油の国際価格低迷が、輸出額の減少や、資源・エネルギー部門への投資の減退など広範囲の影響を与えた。輸出、対内直接投資の双方で石油部門の低迷が響いているため、持続的な経済成長のためには、非資源分野の産業育成や競争力強化が求められている。日本との貿易関係をみると、対日輸出はコーヒーや鉱物資源が牽引して伸びたが、対日輸入は約2割減となった。日本との経済連携協定（EPA）交渉は2015年9月までに13回を重ねており、両国経済界は早期合意に期待している。

2015年は過去6年で最も低い経済成長率

2015年の実質GDP成長率は3.1%と、前年の4.4%を下回り、過去6年で最も低い成長率となった。コロンビア経済は、資源価格の低迷により輸出が減少しただけでなく、資源・エネルギー部門への投資の減退、エルニーニョ現象による干ばつやペソ安による輸入食料品等の価格高騰に伴う物価上昇により、内需の減速もみられた。

総需要の65%を占める民間最終消費支出は345兆コロンビア・ペソ（前年比3.9%増）とGDP成長率の3.1%を上回り、コロンビア経済を下支えした。ただし、前年ほどの勢いはなく、財別にみると半耐久消費財が4.6%増、サービスが4.2%増、非耐久消費財が4.1%増となっているが、自動車などの耐久消費財需要は前年の13.5%増から2.0%のマイナスに転じた。完成車輸入が全体の3分の2を占める自動車販売は30万台を下回った。為替相場の下落で輸入車および輸入部品の価格が高騰し最終販売価

格に転嫁されたことで、買い控えが起きたとみられる。

産業別にみると、実質GDP成長率を上回ったのは、金融・保険・不動産（4.3%）、商業・ホテル・外食（4.1%）、建設（3.9%）、農林水産（3.3%）だった。政府は、建設業で140万人、不動産業で170万人の雇用目標を掲げ、低所得者層向け無償住宅建設などを推進し、2016年も引き続き目標は達成できる見込みで、建設業界にとって追い風となっている。

2016年第1四半期の実質GDP成長率は2.5%と市場予想を下回った。2015年第4四半期の3.4%と同程度の成長になるとみていたが、聖週間の休日（2016年3月）が第1四半期（3月、前年は4月で第2四半期）に当たり、労働日が前年より少なかったことが影響した。短期的にはエルニーニョ現象を背景とする豆類（レンズ豆など）、野菜類（にんじん、にんにくなど）、果実類（オレンジなど）など食品価格の高騰やペソ安を主因とする輸入物価の上昇により家計消費の減速が継続するとみられ、中央銀行は5月27日に2016年のGDP成長率見通しを当初の2.7%から2.5%に下方修正した。

原油安で輸出減少、非資源輸出の拡大を目指す

貿易（通関ベース）は、輸出が前年比34.9%減の356億9,100万ドル、輸入は同15.6%減の540億5,800万ドルで、ともに減少した。貿易収支は183

表1 コロンビアの需要項目別実質GDP成長率

	2014年	2015年					2016年 Q1
		Q1	Q2	Q3	Q4		
実質GDP成長率	4.4	3.1	2.7	3.1	3.1	3.4	2.5
民間最終消費支出	4.2	3.9	4.7	3.8	4.4	3.0	3.5
政府最終消費支出	4.7	2.8	2.2	2.3	3.1	3.8	1.6
国内総固定資本形成	9.8	2.8	7.4	3.3	0.4	0.3	△4.8
財貨・サービスの輸出	△1.3	△0.7	4.2	0.4	△4.8	△2.1	2.1
財貨・サービスの輸入	7.8	3.9	11.7	0.3	8.0	△3.6	△1.5

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比。季節調整値。

〔出所〕国家統計庁（DANE）

億6,700万ドルの赤字となり、赤字幅は前年より91億3,300万ドル拡大した。近年、貿易赤字の幅は拡大傾向にある。

輸出が減少した最大の要因は、品目別で最大シェア(36.0%)の原油が128億3,400万ドルに半減したことだ。原油の輸出量は前年比0.8%減とほぼ変わらないことから、価格の低迷によるところが大きい。コロンビア石油協会(ACP)によると、2015年のコロンビア産原油の平均輸出価格は1バレル当たり44.4ドルであり、前年比49.8%と大幅に下落した。また、2015年の原油の平均日産量は100万バレルと前年の99万バレルを上回った。輸出額2位の石炭は価格低下の影響を受け、前年比33.0%減の45億6,000万ドルとなった。鉱業省によると、全生産の94%を占める発電用一般炭の1トン当たりの平均輸出価格は前年比21.2%減の46.28ドルまで低下した。

輸出を伸ばしたのはコーヒー(25億2,700万ドル、前年比2.2%増、構成比7.1%)と化学製品(6億1,200万ドル、9.1%増、1.7%)の2品目だった。コーヒーの輸出額増加には生産好調による輸出数量の増加が寄与している。コーヒー生産者連盟(FNC)によると、2015年のコーヒー生産量は月間平均118万1,000袋(1袋60キロ)で、前年の101万2,000袋を大きく上回った。他方、コーヒーの国際価格を決めるニューヨーク取引所におけるアラビカ豆の価格は、2014年は総じて高水準を維持したが、2015年は1月の1ポンド(453.6グラム)185.82セントから下降線をたどり、12月には139.63セントまで下がっている。この影響もあり、コロンビア産コーヒー(生豆)の輸出平均単価も2014年の1キログラム当たり4.00ドルから11.2%低下し、3.55ドルとなっている。

主要輸出相手国・地域別では、最大の仕向け先の米国は98億5,300万ドルで前年比30.6%減、以下、パナマ(23億9,400万ドル、33.8%減)、中国(22億6,400万ドル、60.7%減)、スペイン(15億8,100万ドル、51.6%減)と続くが、軒並み大きく減少した。2014年に輸出を大きく伸ばしたアジア地域へは中国やインド向けの原油輸出の割合が高かったが、2015年はそれぞれ大幅減となった。主要国への輸出が前年比で軒並み減少する中、日本向けは原油輸出

が再開されたこともあり、23.5%と大幅に増加した。米国におけるシェール資源の開発により、米国の中南米諸国からの原油輸入は減少傾向にあったため、米国を主要輸出先とする中南米諸国は近年、新たな輸出先の開拓を進めている。その一つが日本である。

原油価格をはじめ国際価格に左右される資源輸出依存型の輸出構造からの脱却を図るため、2016年2月25日にコロンビア政府と産業界の間で、「コロンビアの非資源輸出促進協定」が署名された。民間部門では国際競争力を高めるために新たな輸出製品の開発や多様化を進め、政府は輸出時の障害となる規制緩和などを推進するほか、アジア地域などの新規の海外販路開拓支援を実施する。商工観光省は2018年までに非資源製品の輸出総額300億ドル超を目指すとしている。

■輸入は2009年以来となる前年比減

2015年の輸入は前年比15.6%減の540億5,800万ドルへと減少した。前年割れはリーマン・ショックの影響を受けた2009年以来、6年ぶりとなる。品目別の首位は、石油および石油製品が32.1%減の51億2,600万ドルだった。2016年1月にカルタヘナ製油所の拡張工事が終わり、同製油所の精製能力が以前の2倍超の16万5,000バレル/日に拡張されたため、石油精製品の輸入減少を通じて今後の貿易収支の改善に貢献しそうだ。

輸入額の77.6%を占める工業製品は、419億3,400万ドルで前年比14.0%減となった。主要品目別にみると、2位の自動車は28.4%減の47億6,200万ドル、通信機器・音

表2 コロンビアの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2014年		2015年			2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
農林水産・食品・飲料	7,343	6,935	19.4	△5.6	農林水産物・食品・飲料	6,507	6,019	11.1	△7.5
食料品・飲料	5,423	5,089	14.3	△6.2	穀物・同調製品	1,831	1,782	3.3	△2.7
コーヒー、ココア、香辛料およびこれらの製品	2,894	2,949	8.3	1.9	飼料	881	748	1.4	△15.1
果実および野菜	985	960	2.7	△2.5	果実および野菜	583	536	1.0	△8.1
糖類およびその調製品	820	611	1.7	△25.5	鉱物性燃料・非鉄金属など	8,525	5,992	11.1	△29.7
食用に適しない原材料(鉱物性燃料を除く)	1,862	1,795	5.0	△3.6	石油および石油製品	7,547	5,126	9.5	△32.1
切り花	1,427	1,350	3.8	△5.4	非鉄金属	814	706	1.3	△13.3
鉱物性燃料	36,462	19,291	54.1	△47.1	工業製品	48,736	41,934	77.6	△14.0
石油および石油製品	28,626	14,120	39.6	△50.7	自動車	6,655	4,762	8.8	△28.4
石炭、コークスなど	6,810	4,560	12.8	△33.0	その他輸送機器	2,706	3,046	5.6	12.6
工業製品	9,391	8,361	23.4	△11.0	通信・音響・映像機器	4,231	3,416	6.3	△19.3
プラスチック原料	1,042	882	2.5	△15.4	一般産業機械	3,065	2,680	5.0	△12.6
エッセンシャルオイル・香料、洗剤など	685	616	1.7	△10.1	医薬品	2,536	2,505	4.6	△1.2
化学製品	561	612	1.7	9.1	鉄鋼製品	2,654	1,969	3.6	△25.8
その他製品	1,600	1,104	3.1	△31.0	有機化学品	2,337	2,010	3.7	△14.0
金(マネタリーゴールドを除く)	1,587	1,091	3.1	△31.3	電気機器・同部品	2,233	2,030	3.8	△9.1
合計(その他含む)	54,795	35,691	100.0	△34.9	合計(その他含む)	64,029	54,058	100.0	△15.6

〔出所〕国家統計庁(DANE)

表3 コロンビアの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2014年		2015年		2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
北米(NAFTA)	15,780	11,185	31.3	△29.1	24,630	20,242	37.4	△17.8
米国	14,200	9,853	27.6	△30.6	18,193	15,512	28.7	△14.7
メキシコ	914	914	2.6	△0.0	5,273	3,853	7.1	△26.9
カナダ	665	417	1.2	△37.3	1,165	877	1.6	△24.7
ALADI	11,700	8,353	23.4	△28.6	7,723	6,015	11.1	△22.1
アンデス共同体	3,210	2,730	7.6	△15.0	2,675	2,153	4.0	△19.5
エクアドル	1,884	1,433	4.0	△24.0	918	783	1.4	△14.7
ペルー	1,187	1,148	3.2	△3.2	1,205	937	1.7	△22.2
その他ALADI	8,490	5,623	15.8	△33.8	5,049	3,862	7.1	△23.5
パナマ	3,616	2,394	6.7	△33.8	56	93	0.2	67.3
ブラジル	1,622	1,190	3.3	△26.7	2,466	2,084	3.9	△15.5
ベネズエラ	1,987	1,060	3.0	△46.6	440	292	0.5	△33.6
EU28	9,406	6,008	16.8	△36.1	8,761	8,278	15.3	△5.5
スペイン	3,263	1,581	4.4	△51.6	967	915	1.7	△5.3
オランダ	2,117	1,490	4.2	△29.6	294	359	0.7	22.1
英国	1,090	633	1.8	△42.0	598	536	1.0	△10.4
ドイツ	634	496	1.4	△21.7	2,531	2,267	4.2	△10.4
アジア	9,666	3,931	11.0	△59.3	16,805	14,138	26.2	△15.9
日本	421	520	1.5	23.5	1,525	1,227	2.3	△19.5
中国	5,755	2,264	6.3	△60.7	11,790	10,032	18.6	△14.9
インド	2,739	550	1.5	△79.9	1,369	1,199	2.2	△12.4
合計(その他含む)	54,795	35,691	100.0	△34.9	64,029	54,058	100.0	△15.6

[注] ①ラテンアメリカ統合連合 (ALADI) は、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、チリ、コロンビア、キューバ、エクアドル、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ、ベネズエラからなる。アンデス共同体は、ボリビア、コロンビア、エクアドル、ペルーからなる。

②「ALADI」、「その他ALADI」はメキシコを除いた数値。

③金額は暫定値。

[出所] 国家統計庁 (DANE)

響・映像再生機が19.3%減の34億1,600万ドルとほとんどが前年を下回った。主要品目で唯一増加したのは、その他の輸送機器で12.6%増の30億4,600万ドルとなった。これは、航空機の輸入増によるものであり、アビアンカ航空が2019年までにフランスのエアバス社から100機の購入を決定したことが要因とみられる。

輸入相手国別は、米国(155億1,200万ドル、前年比14.7%減)、中国、メキシコ、ドイツ、ブラジルの順だった。

2015年の通商政策の動向としては、2015年7月に太平洋同盟の枠組み協定が発効し、その後、貿易、投資、サービスなどの分野における具体的な取り決め事項をまとめた追加議定書が2016年5月に発効した。これにより、メキシコ、コロンビア、ペルー、チリの人口2億2,000万人を超す広域自由貿易圏が形成された。また、太平洋同盟加盟を目指すコスタリカは太平洋同盟各国とのFTA締結が加盟条件となっているが、2016年4月6日にコロンビア憲法裁判所がFTA批准法案を承認し、8月1日にコロンビア・コスタリカFTAが発効した。2016年8月現在、コロンビアは15件のFTAに署名している。

■原油安で石油・鉱業分野への投資が激減

対内直接投資額 (国際収支ベース、ネット、フロー)は前年比25.8%減の121億800万ドルで、過去最高額を記録した前年と比べると大幅減となった。2011年以降、対内直接投資は堅調な伸びを示していたが、2015年は過去5年間で最低の水準となった。資源価格下落により石油・鉱業分野への投資が前年比43.0%減となったことが主因である。

最大の投資先は引き続き石油部門だが、2015年は30億6,300万ドル (前年比35.3%減、構成比25.3%) となり、鉱業 (石炭含む) の5億3,300万ドル (66.3%減、4.4%) と合わせた石油・鉱業分野への対内直接投資に占める割合は29.7%と3割を割った。産業部門別で投資額が伸びたのは、商業・外食・ホテルの18億5,900万ドル (65.8%増)、建設の7億6,000万ドル (13.7%増)、農林水産の2億2,000万ドル (8.1%増) だった。

国別にみると前年3位だった米国が21億2,100万ドル (前年比6.4%減) で最大の投資国に。以下、パナマ (16億300万ドル)、スペイン (14億200万ドル)、スイス (10億7,800万ドル) と続く。主要国が軒並み減少する中、バミューダ諸島 (前年比27.1%増)、オランダ (95.4%増)、チリ (68.1%増)、ドイツ (2.5倍) などからの投資が伸びている。アジア大洋州はシンガポールが7.5倍に増え、地域全体では1億7,800万ドル (22.7%増) へと伸びた。

2015年における主な対内直接投資事例をみると、2014~2015年にかけて入札が行われた第4世代道路網整備計画 (4G) のインフラプロジェクトなどの建設部門の大型事例が目立った。また、チリ3位の商業施設デベロッパのバルケ・アラウコは、2017年までにボゴタ、ネイバ、バジェドゥパール、ソポの4カ所にショッピングモールを建設する。同社は2008年にペルー、2010年にコロンビアに進出し、両市場の販路拡大を目指す。コロンビアはチリのセンコスッドや地場のモールプラザなど競合他社の存在があるが、ショッピングモール進出の余地はあるとバルケ・アラウコはみており、今後もコロンビアへの追加投資を検討するとしている。

製造業では米国のコカコーラがクンディナマルカ県に2億ドルを投じて新工場を建設するほか、インドのオートバイメーカー、ヒーロー・モトコープが7,000万ドルを投じ、初の海外工場をカウカ県に建設する。また、中国の商用車メーカーである北汽福田汽車が1,250万ドルを投じてボゴタ近郊に建設していた工場が2015年8月に稼

働開始。拡大する中南米の小型商用車市場を視野に入れている。

■対外直接投資では商業部門が大きく拡大

2015年の対外直接投資額は42億1,800万ドルと前年比8.2%増。産業部門別では、商業・外食・ホテルが前年の約5.5倍の15億7,900万ドルとなり、石油・鉱業分野の14億1,600万ドル（20.8%減）を上回って最大となった。次いで、電力・ガス・水道、金融・不動産、製造業の順であった。

主要地域別にみると、欧州向け（18億4,400万ドル）が

表4 コロンビアの国・地域別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万ドル、%)

	対内直接投資				対外直接投資			
	2014年		2015年		2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
北米 (NAFTA)	3,363	2,259	18.7	△32.8	△178	△935	-	-
米国	2,267	2,121	17.5	△6.4	280	95	2.2	△66.2
カナダ	443	318	2.6	△28.1	1	△268	-	-
メキシコ	654	△180	-	-	△459	△762	-	-
欧州地域	7,265	4,967	41.0	△31.6	1,894	1,844	43.7	△2.7
スペイン	2,219	1,402	11.6	△36.8	1,093	2,228	52.8	103.8
スイス	2,817	1,078	8.9	△61.7	100	△102	-	-
英国	1,091	740	6.1	△32.1	365	△133	-	-
カリブ島しょ地域	2,125	1,986	16.4	△6.5	654	1,216	28.8	86.0
バミューダ諸島	1,009	1,283	10.6	27.1	522	1,056	25.0	102.4
中米	2,511	1,641	13.6	△34.6	609	848	20.1	39.1
パナマ	2,446	1,603	13.2	△34.5	517	748	17.7	44.7
南米	949	1,058	8.7	11.5	909	1,233	29.2	35.6
チリ	441	742	6.1	68.1	193	608	14.4	214.7
ベネズエラ	114	82	0.7	△27.4	8	22	0.5	167.4
ブラジル	43	65	0.5	52.1	266	318	7.5	19.7
アジア大洋州	145	178	1.5	22.7	1	△0	-	-
シンガポール	10	72	0.6	649.8	0	0	0.0	-
日本	65	30	0.2	△53.2	△0	0	0.0	-
合計(その他含む)	16,325	12,108	100.0	△25.8	3,899	4,218	100.0	8.2

〔注〕金額は推計値。

〔出所〕コロンビア中央銀行

表5 コロンビアの業種別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万ドル、%)

	対内直接投資				対外直接投資			
	2014年		2015年		2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
石油	4,732	3,063	25.3	△35.3	1,788	1,416	33.6	△20.8
鉱業(石炭含む)	1,582	533	4.4	△66.3				
製造業	2,837	2,412	19.9	△15.0	832	422	10.0	△49.3
金融・不動産	2,478	2,103	17.4	△15.1	653	428	10.1	△34.5
運輸・倉庫・通信	1,994	668	5.5	△66.5	△467	△808	-	-
商業・外食・ホテル	1,122	1,859	15.4	65.8	287	1,579	37.4	449.6
建設	669	760	6.3	13.7	68	47	1.1	△31.2
電力・ガス・水道	523	251	2.1	△51.9	632	867	20.5	37.1
農林水産	203	220	1.8	8.1	9	12	0.3	33.5
合計(その他含む)	16,325	12,108	100.0	△25.8	3,899	4,218	100.0	8.2

〔注〕金額は推計値。

〔出所〕コロンビア中央銀行

全体の43.7%を占め、以下、南米（12億3,300万ドル）、カリブ島しょ地域（12億1,600万ドル）と続いた。他方、北米は9億3,500万ドルの引き揚げ超過となった。

コロンビア企業による大型投資案件としては、小売り大手のエクシトが同グループの南米（アルゼンチン、ブラジル）オペレーションを集約するため、15億3,600万ドルを投じて関連会社の株式54%の取得やアルゼンチンの食品小売業リベルタの買収（2億7,000万ドル）などを行い、合計で18億2,600万ドルの大型投資を行った。

その他、メデジン市公益事業会社によるチリのアントファガスタ社の水道事業買収（9億6,500万ドル）、同社のパナマ子会社エンサによるパナマの変電所および街路灯拡張プロジェクト（2億7,000万ドル）、大手金融グループのグルーポ・スラによる英国RSA インシュアランス・グループの中南米6カ国（アルゼンチン、ブラジル、チリ、コロンビア、メキシコ、ウルグアイ）事業買収（約6億1,400万ドル）などがある。

■対日貿易では原油輸出が再開

2015年の対日輸出は前年比23.5%増の5億2,000万ドル、対日輸入は19.5%減の12億2,700万ドル、貿易収支は7億700万ドルの赤字となった。輸出の伸びが輸入を上回ったため、赤字幅は前年比で約4億ドル縮小した。

輸出の伸びが大きい順で主要品目別にみると、原油が全増の1億100万ドルとなり、全体の19.4%を占めた。続いて石炭が59.3%増、エメラルドなどの貴石・半貴石が32.6%増と続く。最大の輸出品目であるコーヒーは15.9%増の2億7,400万ドルと全体の52.6%を占めた。

他方、対日輸入をみると、日本は国別では3年連続で7位の輸入相手国だが、構成比は前々年の2.5%、前年2.4%から2.3%へと年々低下している。品目別にみると、工業製品が大宗を占め、構成比の高い順に自動車34.0%減の2億1,800万ドル、鉄鋼・同製品が28.2%減の2億1,700万ドル、タイヤ・ゴム類が1億3,500万ドルと続く。コロンビアにおける2015年の新車販売台数は前年比12.2%減の28万7,099台と30万台を割った。日本車は前年比17.1%減の5万1,966台となり、過去5年間で最低の水準であった。

2015年の日本からの直接投資額は前年比53.2%減の3,000万ドルだった。これは対内直接投資総額の0.2%にすぎない。主な案件とし

ては、広島県の精密鋳造業キャストがボゴタ近郊に医療機器用精密鋳造部品の工場を建設したことが挙げられる（2016年5月に稼働）。2016年には、荏原製作所がポンプの販売とサービス・サポートを行う新会社を設立した（5月発表）。

二国間関係では、2015年9月に日本・コロンビアの投資協定が発効した。現在交渉中のEPA交渉は2015年9月までに13回を重ね（その後2016年4月までに小規模な会合を3回開催）、両国経済界は早期締結に期待している。

表6 コロンビアの主な対内直接投資事例（2015年）

（単位：ドル）

業種	企業名	国籍	発表時期	投資額	概要
建設	ACS	スペイン	1月19日	10億以上	バジェ・デル・カウカ県のMulaló-Loboguerrero間の全長31.8kmの道路建設プロジェクトに10億ドル以上を投資。
不動産	パルケ・アラウコ	チリ	5月20日	3億800万	2017年までに、ボゴタ、ネイバ、バジェドゥパール、ソポの4つのショッピングモール建設。
製造業	コカコーラ	米国	6月4日	2億	クンディナマルカ県に新工場を建設。
製造業	ヒーロー・モトコープ	インド	9月8日	7,000万	インドのオートバイメーカーのヒーロー社は、カウカ県に組立工場を建設。
建設	サシール	スペイン	9月21日	20億	コロンビアの第4世代道路網整備計画（4G）のインフラプロジェクトに投資することを発表。
建設	FCC	スペイン	10月30日	4億3,300万	アンティオキア県のToyoの道路およびトンネル建設、全長12.3kmのうち9.8kmがトンネル。
ITサービス	C&W ビジネス	英国	11月18日	18億	国内6都市にデータセンターなどを建設。

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

表7 コロンビアの主な対外直接投資事例（2015年）

（単位：ドル）

業種	企業名	投資国・地域	発表時期	投資額	概要
電力・ガス・水道	エンサ	パナマ	4月1日	2億7,000万	メデジン市公益事業会社（EPM）子会社パナマの配電会社（ENSA）を通じて、変電所および公衆街路灯拡張工事プロジェクトに投資。
電力・ガス・水道	メデジン市公益事業会社	チリ	4月23日	9億6,500万	チリのアントファガスタ社の水事業会社を買収。
石油・天然資源	アダサ（ADASA）	ホンジュラス	4月29日	2億6,000万	コロンビアのグロドコとホンジュラスの建設会社からなるコンソーシアム、アダサに融資。
小売り	エクシト	アルゼンチン、ブラジル	7月30日	18億2,600万	カジノグループ（フランス）のスーパー、エクシトは、カジノグループの南米（アルゼンチン、ブラジル）オペレーションをエクシトに集約するため、15億3,600万ドルで54%の株式を取得。また、カジノグループのアルゼンチンの食品小売業リベルタを2億7,000万ドルで買収。
金融	グルーボ・スラ	アルゼンチン、ブラジル、チリ、コロンビア、メキシコ、ウルグアイ	9月9日	6億1,400万	英・RSA インシュアランス・グループの中南米事業を買収。

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

表8 コロンビアの対日主要品目別輸出入＜通関ベース＞

（単位：100万ドル、%）

	輸出（FOB）					輸入（CIF）			
	2014年		2015年			2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
伝統産品	313	416	80.0	33.1	自動車	330	218	17.8	△34.0
コーヒー	236	274	52.6	15.9	鉄鋼・同製品	302	217	17.7	△28.2
原油	0	101	19.4	全増	タイヤ・ゴム類	135	135	11.0	△0.1
フェロニッケル	66	25	4.9	△61.8	印刷機	51	42	3.4	△17.5
石炭	10	16	3.2	59.3	自動車部品	49	40	3.3	△18.7
非伝統産品	108	104	20.0	△4.2	ブルドーザー等	52	30	2.4	△43.1
切り花	53	49	9.4	△8.9	エンジン部品	30	27	2.2	△9.8
コーヒー調整品	18	16	3.1	△12.9	ボールベアリング	26	27	2.2	3.4
殺虫剤・殺菌剤	13	15	2.9	11.0	医療機器	31	26	2.1	△15.1
貴石・半貴石	6	7	1.4	32.6	トランスミッション	17	18	1.5	8.5
合計（その他含む）	421	520	100.0	23.5	合計（その他含む）	1,525	1,227	100.0	△19.5

〔出所〕 国家統計庁（DANE）